

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	外国人受入医療機関認証制度等推進事業			担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課	課長：中村 博治			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成23年3月31日付厚生労働省発医政0331第31号「医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金の国庫補助について」				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	外国人患者を受入れる医療機関の認証制度の整備等を行うことにより、外国人患者を受け入れる医療機関の質の確保を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国際医療交流を推進する観点から、本制度を普及させ軌道に乗せるための認証機関に対する支援を行う。 ・既に外国人患者受入の実績を有する主な病院の状況調査 ・当該病院を複数回利用している者のニーズ等の把握 ・審査予定の医療機関向けの講習会の実施 ・認証(予定)病院に対するコーディネート費用 等 ②外国人患者が、安心・安全に日本の医療サービスを受けられるよう、医療通訳等が配置されたモデル拠点の整備に向け、通訳育成カリキュラム作成や外国人患者向け説明資料の標準化などを行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	10	157	141	143			
		前年度から繰越し	53	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	63	157	141	143	0		
		執行額	63	68	130				
執行率(%)		100%	43%	92%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	平成32年度までに外国人患者受入認証病院数を30とする。	外国人患者受入認証病院数	成果実績	病院	3	2	10	-	-
			目標値	病院	6	7	7	-	30
			達成度	%	50	29	143	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	平成32年度までに地域の拠点となる医療通訳配置病院を30ヶ所整備	医療通訳配置病院数 ※本事業は平成26年度から開始したものであり、24・25年度の実績はない。	成果実績	病院	-	10	19	-	-
			目標値	病院	-	10	10	-	30
			達成度	%	-	100	190	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	外国人向けパンフレット作成枚数	活動実績	枚	9,000	9,000	9,000	-		
		当初見込み	枚	9,000	9,000	9,000	9,000		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	外国人向け説明資料作成枚数 ※本事業は平成25年度から開始したものであり、24年度の実績はない。	活動実績	部	188	188	188	-		
		当初見込み	部	188	188	188	188		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト = X/Y X:「交付決定額の合計」 Y:「外国人受入医療機関認証病院数+医療通訳配置病院数」		単位当たりコスト	百万円	21	5.7	4.5	4.1	
			計算式	X / Y	63百万円 / 3病院	68百万円 / 12病院	130百万円 / 29病院	143百万円 / 35病院	
平成28・29年度予算内 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	143							
	計	143	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること								
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標 I-1-1)								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度	
					-	-	-	-	-	
					-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	外国人患者を受入れる医療機関の認証制度の整備を行うことにより、地域において外国人患者を受け入れる医療機関の質の確保が図られ、地域において必要な医療を提供できる体制整備に寄与する。									
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
						-	-	-	-	-
成果実績			-	-		-	-	-		
目標値			-	-		-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
					-	-	-	-	-	
		成果実績			-	-	-	-	-	
		目標値			-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境整備は日本再興戦略等に掲げられた事業であり、社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境整備は日本再興戦略等に掲げられた事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境整備は日本再興戦略等に掲げられた事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 必要最低限の経費のみを計上しており、妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○ 事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続きコスト削減に努める。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○ 業務の適切な実施のため合理的なものとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目、使途については、人件費等必要最低限としている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○ 事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続きコスト削減に努める。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 成果目標を達成している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○ 成果実績からみて実効性の高い手段といえる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 見込みにあった活動実績となっている。	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○ 各地域で外国人患者対応に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果	外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境を整備するため、 ・認証制度について普及啓発活動を行った結果、24年度時点で3病院だった認証病院が27年度時点で15病院となった。 ・平成27年度には医療通訳や医療コーディネーターが配置された医療機関が19病院となった。	
	改善の方向性	外国人が安心して日本の医療機関を受診できるよう、認証病院が増加するよう、また外国人患者受入れ体制が整備された医療機関の整備を引き続き事業を進めていく。	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

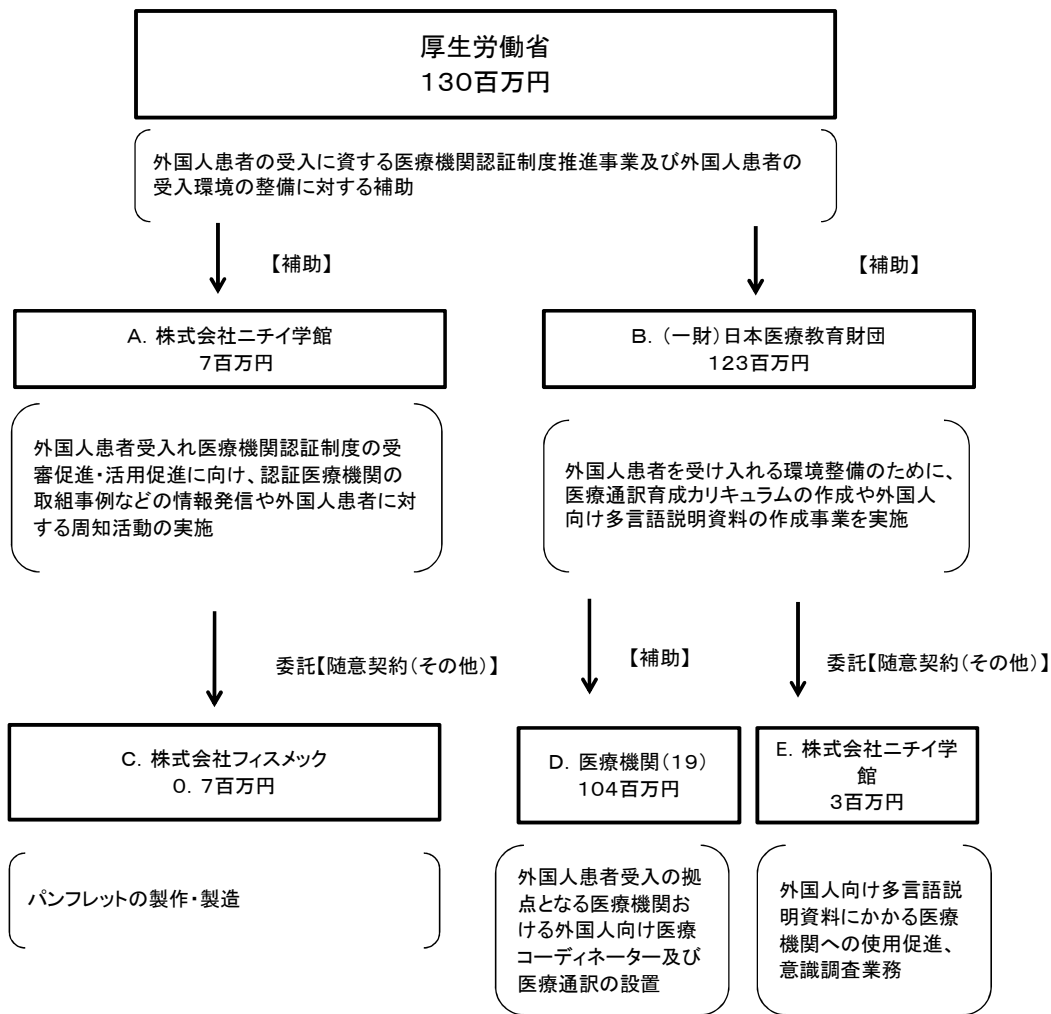
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度	新23-0002	平成24年度	848		
平成25年度	24	平成26年度	23	平成27年度	21		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社ニチイ学館			B.(一財)日本医療教育財団		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員給与費	3.4	補助金	外国人患者の受入環境整備推進に係る補助	104
旅費	事務局員旅費	1.1	人件費	職員給与費	11
報償費	アドバイザー謝金	1	委託費	説明資料事業委託料	2.9
使用料及び賃借料	会場借料	0.8	使用料及び賃借料	会場借料等	2.4
委託料	パンフレット製作委託	0.7	旅費	事務局員旅費	1.4
消耗品費	会議資料	0.2	その他	通信運搬費、印刷製本費、雑役務費等	1.3
計		7.2	計		123
C.株式会社フィスメック			D.札幌東徳洲会病院		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	パンフレット製作	0.7	人件費	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	11.7
計		0.7	計		11.7
E.株式会社ニチイ学館			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	説明資料の使用促進・意識調査等業務	3			
計		3	計		0

